



※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

2024年3月28日

放送局の枠を越えた 北海道の“食”を深掘る新プロジェクト 「いっちゃんおいしい HBC」を発足

HBC 北海道放送(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:勝田直樹)は、放送局の枠を越えた北海道の“食”を深掘る新プロジェクトとして「いっちゃんおいしい HBC」を2024年4月よりスタートいたします。



15年続く農業応援番組「あぐり王国北海道 NEXT」をはじめ、北海道の食を発信し続けてきた HBC が、放送局の強みである、取材力・企画力・発信力を活かし、情報やコンテンツを越えて、北海道の食を深掘り、その価値をより多くの人に届けるプロジェクトです。

プロジェクト名である「いっちゃんおいしい HBC」は、北海道エリアで1チャンネルの HBC が、北海道で一番“食”に向き合う企業となる決意を込め、北海道でとれる海産物の変化、廃棄されている食材、埋もれている特産など、食の課題や未来に向き合い掘り下げていきます。「いっちゃんおいしい HBC」のロゴは“食”を連想させるどんぶりに光を当て、食を照らすイメージで作成しています。

3月28日よりティザーでの展開をスタート。

■ホームページ

<https://www.hbc.co.jp/1ch-oishii/>

■ティザームービー

<https://youtu.be/DtH0Myj8-QY>

■ポスタービジュアル



■ステートメント全文

食は、北海道の魅力であり課題でもある。
だから、HBCはとことん掘り下げる。

温暖化のこと。物価高のこと。輸出のこと。
世界で起こることが、北海道の食につながっている。

大きな視点でニュースを語るのもだいじだけれど、
半径10メートルで起きる話題こそ伝えたい。
地元で愛されているのに、人材不足に苦しむ店主
がいる。

子ども食堂で“居場所”をつくる人がいる。

まだない食材の開発に挑む研究者がいる。

DXと加工技術で販路を世界に広げる農家がい
る。

動物愛護と“食べていく”のバランスに悩む人が
いる。

地元素材を調理して価値と雇用を生む工場があ
る。

そう、北海道は「つくる」と「食べる」でできている。

消費してるだけの「消費者」なんて、きつくない。

いろんな立場の人が集えば、学び合いが生まれる。

地元メディア HBC がつくるのは、学びコミュニテ
ィ。

「メディア」の本来の意味である「媒介」となって、

わたしたちは、食の北海道ブランドをバックアップ
する。

食べるも、つくるも、広めるも。北海道の食の未
来に光を。

【お問い合わせ】HBC視聴者センター

【電話】011-232-5806

【受付時間】平日 午前10:00～午後5:30(土日祝、年末年始は除く)